



学校だより

令和6年度 第5号
令和6年8月30日発

言葉のもつ力を考える

清宮 正義

静かだった校舎にも子どもたちの活気が戻り、いよいよ学校生活が再開されました。

暑い日が続いた今年の夏休みでしたが、学校生活が始まってもしっかりと熱中症等に十分気を付けて学校生活を過ごしてまいります。

今年の夏は、オリンピック・パラリンピックが開催され、改めてスポーツの素晴らしさを感じる期間でもありました。また、高校野球でも、高校生らしく礼儀を重んじた素晴らしいプレーが幾つも見られました。

「努力したとしても報われるとは限らない。しかし、努力しなければ報われることはない。」

この言葉は、全国高校野球大会開会式に選手宣誓にあった言葉の一部です。目標に向かい熱心に挑戦する選手たちの心情を強く感じ、心の底から感動をしました。一方、素晴らしい演技を見せてくれた選手に対して匿名の心無い批判や中傷する場面も見られ、残念に感じました。

さて、みなさんは「言葉」が「力」を持っているということを信じますか。日本には昔から「言霊(ことだま)」という言葉があり、言葉は魂を持っていると信じられてきました。「魂」ということは「心がある」ということです。私たちの口から出た言葉は、周りの人に影響を及ぼす力があるのです。

きれいなものを見たときに人は感動するものです。それを心の中でそっと大事にすることもあるでしょう。でもその感動を素直に「きれい」と言葉にすると、周囲の人に伝えることができます。それは、その美しさにあまり関心なかった周りの人にも気づかせることにもなります。また、自分の声が自分の耳に返ってきて、その美しさは、目からだけでなく耳からも入り、全身で感じるができるのです。

言葉には不思議な力があります。思っているだけだと曖昧に感じることで、表現するとより確かなことになります。また、表現した言葉は、自分に返ってくるものです。だからこそ、やさしい思いやりのある言葉を使わなくてはならないのです。相手を傷つける言葉を使うと、自分も傷つけていることになります。言葉のもつ影響力は大きく、優しい言葉は、ほかほかした温かな雰囲気を作り出し、汚い言葉は、とげとげした殺伐とする空気を作ります。

たった一つの言葉によって、人は優しくなったり、悲しくなったりします。自分の心に感じた、明るいきれいな感情を素直に言葉に表し、皆が楽しい雰囲気の中で過ごせるようにしたいものです。自分の口から出る言葉が、大きな力を持っていることを忘れずに、言葉を大切にしていける指導に取り組んでまいります。

言葉は生きる力そのものです。人との交わりにおいて挨拶が心を通う第一歩とし、言葉を大切に温かな言葉で人とのコミュニケーションが図れるような基盤の力を身につけさせたいと考えています。各ご家庭や地域におかれましても、言葉を大切にしたいふれあいや言葉かけを、今後も引き続きよろしく願いいたします。

☆連絡とお知らせ☆

◎台風や大雨の後も河川や水路は危険です。

台風や大雨の後も、増水した河川や水路の付近はとても危険です。中に入ることはもちろん、近づかないよう、ご家庭でも注意喚起をお願いします。

◎学校の校庭利用について

本校休業日(土・日・祝)は学校体育施設開放運営委員会により校庭の開放日を行っています。

基本、第1・第2・第4土曜日の午前中が校庭の開放日となります。

なお、利用団体の大会利用等で変更になる場合もありますのでご了承ください。



◇9・10月の学校体育施設開放運営委員会による学校休業日の校庭の開放予定日

【 9月 】 9月 7日(土) ・ 9月 14日(土) ・ 9月 28日(土)

【 10月 】 10月 5日(土) ・ 10月 26日(土)

※ 10月12日(土)はオーチャードキッズ園の運動会が午前中に実施されます。

※ 学校による校庭利用は原則として平日のみです。時間は放課後～16時30分まで。

※ 17時までに帰宅します。

※ 利用できるのは高洲第三小児童、高洲三小子どもルーム、登録社体のみです。(※付添の保護者含め)

◎ 9月のカウンセリング予定日 ※相談のご希望・ご予約は、担任、教頭まで



9月 4日(水) 13:00～17:00

9月11日(水) 8:00～12:00

9月18日(水) 13:00～17:00

9月25日(水) 8:00～12:00